

扶桑町教育委員会事務点検評価報告書

(令和5年度事業)

令和6年8月

扶桑町教育委員会

扶桑町教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 3 1 年法律第 1 6 2 号）第 2 6 条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに町民への説明責任を果たすため、令和 5 年度における扶桑町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を実施し、その結果を報告書にまとめましたので、議会に提出するとともに公表します。

扶桑町教育委員会委員名簿

（令和 6 年 7 月 1 日現在）

教 育 長	澤 木 貴美子
教育長職務代理者	千 田 まち子
教 育 委 員	江 口 夏 世
教 育 委 員	千 田 正 仁
教 育 委 員	熊 崎 規 恭

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

- 第 2 6 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

1. 点検及び評価の目的	1
2. 点検及び評価の対象	1
3. 点検及び評価の方法	1
4. 点検及び評価の経過	1
5. 評価項目	1
6. 事業の内容及び評価	4
7. 令和5年度扶桑町教育委員会の事務の点検及び評価のまとめ	26

1. 点検及び評価の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければなりません。

また、点検及び評価に当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

このため、点検及び評価の対象は、令和5年度事業とし、その報告書を議会へ提出するとともに、扶桑町ホームページで公表します。

点検及び評価については、次のような対象及び方法で行いました。

2. 点検及び評価の対象

第5次扶桑町総合計画で示された「施策」を中心に、各課で実施した主要な事業を対象としました。

3. 点検及び評価の方法

点検及び評価の客観性を確保するために、「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」を図ることとし、学識経験者の意見を参考にしながら、教育委員会の事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行いました。

外部評価委員

委員長 教育長 澤木貴美子

学識経験者 小室明正・倉橋伸子

※扶桑町教育委員会外部評価委員会設置規則第3条及び第5条に基づきます。

4. 点検及び評価の経過

第1回委員会 令和6年7月25日（木）

点検（資料説明及び質疑応答）

第2回委員会 令和6年8月9日（金）

評価及び総評

5. 評価項目

第5次扶桑町総合計画の概要（該当部分のみ抜粋）

<まちづくりの視点>みんなの笑顔が かがやくまち 扶桑町

基本目標1 みんなで“支え合う” ～ほっこり暮らせるまちづくり～
子育て支援

3 子どもの居場所づくり

（1）放課後子ども広場事業

基本目標 2 みんなで“学び育む” ～次代と豊かな心を育むまちづくり～
学校教育

- 1 教育環境の整備
 - (2) 学校施設改修整備事業
 - ①大規模改修事業
 - ②小学校・中学校エアコン整備事業
 - ③長寿命化計画策定事業
 - (3) スクールガードボランティアの実施
 - (4) 町民聴講生制度
 - (5) 私立高等学校等授業料補助事業
 - (6) 要保護及び準要保護児童・生徒援助事業
 - (7) 地域学校協働参画事業※
 - ①地域学校協働本部事業
 - ②学校運営協働協議会事業
- 2 学校保健・学校給食の充実
 - (8) 学校給食事業
 - ①食育推進事業
 - ②食物アレルギー対応食の実施
- 3 教育内容の充実
 - (9) 外国語講師派遣事業
 - (10) ICT 教育推進事業
 - (11) キャリア教育推進事業
- 4 児童・生徒への支援の充実
 - (12) 養護教諭及び支援員等配置事業
 - ①養護教諭加配事業
 - ②特別支援員配置事業
 - ③医療的ケア支援員配置事業
 - (13) 児童生徒支援事業
 - ①教育支援センター運営事業
 - ②就学前教育相談事業
 - ③スクールソーシャルワーカー配置事業
 - (14) 地域学習活動支援事業
 - (15) いじめ問題対策連絡協議会

家庭教育・青少年育成

- 1 青少年の健全育成
 - (16) 青少年健全育成推進事業※
- 2 家庭教育の充実
 - (17) 家庭教育推進事業

生涯学習

- 1 生涯学習機会の充実
 - (18) 生涯学習事業
 - ①生涯学習講座事業
 - ②世代間交流事業※
 - ③文化祭、町民音楽祭、美術展、町民茶会
 - ④地域クラブ活動事業※
 - 2 スポーツの普及促進・推進体制の充実
 - (19) スポーツの普及促進・推進事業
 - ①スポーツ大会の実施
 - ②総合型地域スポーツクラブ
 - ③学校体育施設スポーツ開放事業
 - 4 図書館の充実
 - (20) 図書館事業
 - ①図書館インターネット予約事業※
 - ②図書館整備運営事業
 - (21) 図書館ボランティアの養成・支援

文化・芸術

- 1・2 次世代へつなぐ文化の創造・地域文化の担い手の発掘と仕組みづくり
 - (22) 文化会館事業
 - ①公演事業
 - ②ふそうのロビコン（ロビーコンサート）
 - ③扶桑町登録アーティスト紹介事業
- 3 文化・芸術活動への支援体制
 - (23) ボランティア団体（ふそう文化会館夢応援団、扶桑文化会館友の会）の育成
- 4 文化財の保護と活用
 - (24) 文化財保護事業

事業名の後に「※」印がついた事業は、第5次扶桑町総合計画の「施策」に示されていませんが、各課で実施した主要な事業となります。

6. 事業の内容及び評価

(1) 放課後子ども広場事業（子ども課）

事業の目的	放課後子どもプランを推進し、放課後における子どもの安全安心な活動場所を確保します。
事業内容及び実績評価	1・2年生を対象に小学校の余裕教室等を活用して、放課後における子どもの活動場所を確保しました。 柏森小学校は2教室、山名小学校は公民館視聴覚室、高雄小学校は郷土研究室及び会議室、扶桑東小学校は体育館会議室等を利用して、小学校授業日の下校時から午後5時まで開設しました。 登録児童人数 144名（令和5年度末） 【過去の実績】 R4 152名（年度末） R3 188名（年度末）
課題及び今後の取組みの方向性	放課後児童クラブと放課後子ども広場を所管する課が同一となり、子ども課に移管したため外部評価の項目から除きます。
外部評価委員評価	機構改革に伴い評価対象から除外されることとなりますが、今後も児童クラブと子ども広場の連携を図り、無駄のない事業運営を進めてください。

(2) 学校施設改修整備事業（財政管財課）

①大規模改修事業

事業の目的	防災機能強化、環境配慮、バリアフリー化など社会的要請に適切に対応するため、安全面・防災面の計画的な大規模改修を実施し、教育施設に求められる機能・性能の維持を図ります。
事業内容及び実績評価	●校舎非構造部材耐震化改修事業 地震時の被害を最小限に抑え防災機能を強化するため、校舎の非構造部材を耐震化するため、令和3年度から、計画的に校舎の耐震改修・大規模改修工事を実施した順に実施しています。令和5年度は、山名小学校の校舎非構造部材耐震化改修工事及び令和6年度に予定する柏森小学校の校舎非構造部材耐震化改修工事の設計を実施しました。 【過去の実績】 R4 扶桑東小学校の校舎非構造部材耐震化改修工事 R3 高雄小学校の校舎非構造部材耐震化改修工事 ●体育館大規模改修事業 小中学校の体育館の長寿命化、防災機能強化、CO₂排出抑制、学習環境及び避難所の生活環境を改善するため、屋上防水・外壁・

	トイレの改修、非構造部材耐震化改修、照明設備のLED化、屋根・窓ガラスの遮熱工事等の大規模改修工事を、体育館が建設された順に計画的に実施しています。 令和5年度は、山名小学校の体育館大規模改修工事及び令和6年度に予定する高雄小学校の体育館等大規模改修工事の設計を実施しました。 【過去の実績】 R4 扶桑北中学校体育館大規模改修工事 R3 扶桑東小学校体育館大規模改修工事 H28 扶桑中学校体育館大規模改修工事 H27 柏森小学校体育館大規模改修工事
課題及び今後の取組みの方向性	来年度以降も長期事業計画に沿って、すべての学校で校舎非構造部材耐震化改修工事と、体育館大規模改修工事を実施し、適切な校舎の維持管理および、安心・安全な教育環境の整備に努めます。 ●校舎非構造部材耐震化改修事業（予定） R6 柏森小学校 R7 扶桑北中学校 R8 扶桑中学校 ●体育館等大規模改修事業（予定） R6 高雄小学校（体育館と合わせ、校舎トイレの大規模改修工事を実施予定）

②小学校・中学校エアコン整備事業

事業の目的	小学校・中学校にエアコンを設置することにより、良好な学習環境を確保する。
事業内容及び実績評価	【過去の実績】 R1 高雄小学校、扶桑東小学校、扶桑中学校及び扶桑北中学校 エアコン設置工事 H30 柏森小学校エアコン設置工事 (H28 山名小学校空調整備工事)
課題及び今後の取組みの方向性	令和元年度までに、すべての小中学校の校舎にエアコンを設置しました。熱中症対策、避難所の生活環境改善のため体育館へのエアコン設置が課題となっており、令和7年度は、4小学校、令和8年度は2中学校に、停電時も3日間連続で稼働可能なエアコンの設置を計画しています。

③長寿命化計画策定事業

事業の目的	令和9年度に予定される扶桑町公共施設等総合管理計画、扶桑町個別施設計画の改定にあわせて、学校施設の適正な整備、更新、改修、維持管理を行うための計画を策定します。
事業内容及び実績評価	令和6年度に庁内のプロジェクトチーム、分科会を立ち上げる予定で、その前段階として、学校教育課と現時点でのそれぞれの考え方を共有するための打ち合わせ会を実施しました。
課題及び今後の取組みの方向性	公共施設等総合管理計画による目標耐用年数または更新予定時期まで使用するために、劣化診断を実施し、必要な工事及び工事時期を具体化していきます。

外部評価委員 評価	安心・安全な学習環境の整備を図るとともに、想定外の自然災害や異常気象が頻発する近年の状況を踏まえ、避難所としての役割も考慮した計画的な施設改修と適切な維持管理を進めてください。
--------------	--

(3) スクールガードボランティアの実施（学校教育課）

事業の目的	保護者や関係諸機関・地域住民ボランティアの協力を得ながら児童・生徒の日常生活における安全を確保します。
事業内容及び実績評価	スクールガード128名にご協力をいただき、登下校中の児童生徒を交通事故から守ることや不審者との遭遇を未然に防ぐことができました。 【過去の実績】 R4 130名 R3 138名
課題及び今後の取組みの方向性	スクールガードの高齢化が進んでおり、今後も継続して見守り活動ができるよう、若い方や保護者にご協力いただきながら一定の人員を確保していくことが課題として挙げられます。学校運営協働協議会からのボランティア登録の呼びかけを進めています。
外部評価委員 評価	スクールガードの後継者不足が問題化している中、若い世代にも参加していただけるような体制づくりに努めてください。

(4) 町民聴講生制度（学校教育課）

事業の目的	生涯学習の場として、小中学校で行われている授業、行事等の教育活動の場を広く町民に開き、町民と児童生徒の共生と協力により質の高い教育活動の展開に期待するとともに新しい学校のあり方を模索します。
-------	---

事業内容及び実績評価	学び直したい町民に、学校で児童生徒とともに学習する場を提供しました。本年度の聴講者は、3名（高雄小学校1名・扶桑東小学校1名・扶桑北中学校1名）でした。 【過去の実績】 R 4 4名（高雄小学校1名・扶桑東小学校1名・扶桑北中学校2名） R 3 1名（扶桑東小学校） 町民が、学校教育活動に参加することによって、新たな生きがいを見いだすとともに、聴講生の真摯に学ぶ姿勢や態度は、児童生徒の手本となり、好影響を与えています。
課題及び今後の取組みの方向性	今後も、町民の希望者が学校の授業及び行事等の教育活動に、児童生徒と一緒に参加できる場を提供します。
外部評価委員評価	年齢を重ねた聴講生の学ぶ姿勢に接することは、児童生徒にはまたとない学びであり、今後もこの事業を継続してください。

（５）私立高等学校等授業料補助事業（学校教育課）

事業の目的	私立高等学校等授業料補助条例に基づき、私立高等学校等に在籍する生徒に対し授業料の一部を助成し、保護者負担の軽減に努めます。
事業内容及び実績評価	124名の申請があり、123名に上限16,000円(年間)を補助しました。 【過去の実績】 R 4 129名 R 3 143名
課題及び今後の取組みの方向性	国、県、町のそれぞれに補助があります。令和2年度より国による「私学高校授業料実質無償化」が始まり、国、県の補助が手厚くなりました。愛知県では目安として年収720万円未満の世帯が実質無償化の対象となります。今後も社会情勢を鑑みながら適切な補助額の検討をしてまいります。
外部評価委員評価	私立高校への進学者が増加していますが、子育て家庭の負担軽減のために今後もこの事業を継続してください。

（６）要保護及び準要保護児童・生徒援助事業（学校教育課）

事業の目的	経済的に就学困難な児童生徒に対して学用品費等の援助を行い、保護者負担の軽減を図ります。
-------	--

事業内容及び実績評価	経済的に就学困難な児童 149 名及び生徒 74 名に対して学用品費等の援助を行いました。 また、新入学児童学用品就学準備費及び新入学生徒学用品進学準備費を入学前に支給しました。 【過去の実績】 R4 児童 143 名 生徒 80 名 R3 児童 139 名 生徒 84 名
課題及び今後の取組みの方向性	物価の上昇等家計に大きく影響することが続いているため、引き続き景気や雇用の状況など社会情勢の変化による対象者の変動を把握し、適切に補助を行います。
外部評価委員評価	昨今の物価上昇は対象家庭に大きな影響をもたらしております。今後も充実した支援を望みます。

(7) 地域学校協働参画事業（生涯学習課・学校教育課）

①地域学校協働本部事業

事業の目的	地域全体で子供の学びや成長を支えるため、学校を中心とし、地域住民や団体等の参画を得て、地域学校協働活動を推進していきます。
事業内容及び実績評価	地域学校協働本部では、学校と地域とのネットワークづくりを担う地域学校協働活動推進員が本部員として、地域住民と学校との連携を図るとともに、協働活動を行う地域住民を本部に取り込み地域づくりを行っており、令和5年度は情報交換会を3回、推進委員会を3回開催しました。
課題及び今後の取組みの方向性	より多くの地域住民、団体等に参画いただき、学校と地域が協働して取り組む推進体制を構築する必要があります。

②学校運営協働協議会事業

事業の目的	児童生徒の保護者及び地域住民等と協働して学校運営の改善や児童生徒の健全育成について取り組みます。
事業内容及び実績評価	「地域と共にある学校づくり」を目指して、学校運営協働協議会委員を委嘱し各小中学校で、学校運営協働協議会を3回開催しました。地域住民等と学校との情報の共有を図るとともに、さまざまなスクールボランティア募集などの周知について協議しました。

課題及び今後の取組みの方向性	地域学校協働本部と共に、より多くの地域住民、団体等に参画いただき、学校と地域が協働して取り組む推進体制を構築する必要があります。
----------------	--

外部評価委員 評価	学校と地域住民が一体となって子どもを育てる「地域と共にある学校づくり」を目指し、一層の充実を図ってください。
--------------	--

(8) 学校給食事業（学校教育課）

①食育推進事業

事業の目的	食育について、児童生徒が食の自己管理能力を高められるよう、継続的に取り組んでいきます。
事業内容及び実績評価	栄養教諭による給食時訪問指導（小学校1年生から中学校3年生までの95クラス）で、児童生徒と会食することにより、給食の実態を把握し、望ましい食習慣を身につけさせるため、専門的な立場から指導できました。 学校給食で地場産物の使用率アップを目標とした取り組みを年3回（6月・11月・1月）実施しました。 献立募集『わが家の味を給食に！』491献立中、入賞作品10点を選定しました。 夏休みには、食育推進事業として親子料理教室を実施し、親子28名が参加しました。
課題及び今後の取組みの方向性	栄養教諭による給食時訪問指導の1クラス1回あたりの指導時間が限られているなど課題はあるが、今後も継続的な指導を行っていきます。

②食物アレルギー対応食の実施（学校教育課）

事業の目的	食物アレルギーを有する児童生徒に対し、きめ細やかな対応を心がけ、発育過程に即した安全安心でおいしい学校給食を提供します。
事業内容及び実績評価	食物アレルギー児童生徒21名に対応食を提供しました。 【過去の実績】 R4 25名 R3 29名 学校給食における食物アレルギー対応マニュアルの除去食品希望調査表では、製品名の種類が多く複雑なため、家庭における除去申告書（保護者記入用）変更し、アレルギーの判断をわかりやすくしました。令和6年度に向けて食物アレルギー対応の完全除去対応（提供するかしないか）について新規の申請から対応するように決

外部評価委員 評価	きめ細やかなアレルギー対応食や積極的な食育指導など、着実な取組ができています。物価上昇の続く中、現状の給食を維持することも難しくなっていますが、できるだけ保護者負担増を避け、安心安全で充実した学校給食の維持に努めてください。
	めました。
課題及び今後の 取組みの方向性	献立作成に始まり、調理から提供まで、複数の者でチェック対応しています。 現在対応しているアレルギーの原因食物の完全除去対応を進めていくため保護者に理解を求めています。

(9) 外国語講師派遣事業（学校教育課）

事業の目的	外国語講師の派遣を通して、小学校の段階から外国語に親しみ、国際感覚を身につける機会を創出します。
事業内容及び 実績評価	語学指導等を行う外国人英語指導助手を小学校2名、中学校1名派遣しました。 小学校では児童の英語や外国文化に対する興味・関心を高めることができました。また、中学校においては、英語授業の補助を行うことで「生きた英語」に接することができました。
課題及び今後の 取組みの方向性	小学5・6年生の英語教科化に伴い、更なる体制の強化、内容の充実が課題となります。
外部評価委員 評価	小中5年間の英語指導に外国人講師が派遣され、子どもたちは生きた英語に親しむことができています。教師・講師の一層の連携を進め、さらに効果が上がるよう努めてください。

(10) ICT 教育推進事業（学校教育課）

事業の目的	時代のニーズに合う環境を整備し、国際化・情報化社会に対応した教育の充実を図ります。
事業内容及び 実績評価	令和2年度に整備した校内無線LAN環境及び情報端末や、大型モニター等を活用し、国のGIGAスクール構想を実現すべく、教育の情報化に努めました。

課題及び今後の取組みの方向性	日々変化する教育の情報化や ICT 活用について、今後も積極的に研究し、情報リテラシー等も含めての適切な環境づくりに努めます。
外部評価委員 評価	GAGA スクール構想第 2 期に向けて「学びを子どもに委ねる」ため、クラウドを活用した複線型教育に耐えられるネットワーク環境の適切な整備を進めてください。

(11) キャリア教育推進事業（学校教育課）

事業の目的	職場体験学習等を通して生徒が職業の魅力を感じ、望ましい勤労観や職業観の醸成を図ります。												
事業内容及び実績評価	8 月にアメリカや日本の一流アーティストの専属ダンサーを務め、数々の舞台やミュージックビデオで活躍される扶桑町出身の Cahogold さんによる、男女共同参画をテーマとしたキャリア講演を実施しました。 10 月に扶桑中学校の 2 年生生徒 169 人が 58 の事業所で、また、扶桑北中学校の 2 年生生徒 136 人が 45 の事業所でそれぞれ 3 日間の職場体験活動を行いました。 この他扶桑中学校 1 年生は、社会人と語る会で仕事のやりがいについての講演会を実施、また上級学校訪問を行い、学ぶことの大切さを学びました。3 年生は持続可能な社会や地域の担い手としての意識を高めることができました。 扶桑北中学校は、1 年生は上級学校訪問を行い、3 年生は持続可能なまちづくり「まちプロ」をキャリア教育の中に位置づけ学習を進めました。 【過去の実績】 <table><tr><td>R 4</td><td>扶桑中学校</td><td>163 名</td><td>57 事業所</td></tr><tr><td></td><td>扶桑北中学校</td><td>145 名</td><td>53 事業所</td></tr><tr><td>R 3</td><td colspan="3">事業所による体験は未実施</td></tr></table>	R 4	扶桑中学校	163 名	57 事業所		扶桑北中学校	145 名	53 事業所	R 3	事業所による体験は未実施		
R 4	扶桑中学校	163 名	57 事業所										
	扶桑北中学校	145 名	53 事業所										
R 3	事業所による体験は未実施												
課題及び今後の取組みの方向性	各学年ごとに順に、効果的な事業を実施していきたい。												
外部評価委員評価	これまでの職業体験的なキャリア教育と同時に、型にとらわれずに自らが努力し夢を叶えた方々の声を聞く機会を今後も積極的に取り入れ、充実したものにできるよう取り組んでください。												

(12) 養護教諭及び支援員等配置事業（学校教育課）

①養護教諭加配事業

事業の目的	児童・生徒数の多い学校に対し、養護教諭の加配をします。
事業内容及び実績評価	愛知県の加配基準（小学校８５０人・中学校８００人）のおおむね８０％を超える柏森小学校に１名加配しました。 【過去の実績】 Ｒ４ 柏森小学校１名 Ｒ３ 柏森小学校１名
課題及び今後の取組みの方向性	児童・生徒数の多い学校に対し、引き続き必要人数を配置出来るよう努めます。

②特別支援員配置事業

事業の目的	学校において特に通常学級に障害をもった児童生徒が通常の学習・生活活動等に困難が生じないよう特別支援員を配置します。
事業内容及び実績評価	特別支援員を小学校２１名、中学校２名配置しました。 【過去の実績】 Ｒ４ 小学校２１名、中学校２名 Ｒ３ 小学校２１名、中学校２名
課題及び今後の取組みの方向性	他課と連携し、対象児童生徒の数や状態の把握を強化するとともに、引き続き必要人数を配置出来るよう努めます。 時点毎にニーズが変わるため、柔軟に対応する必要があります。

③医療的ケア支援員配置事業

事業の目的	医療的ケアを必要とする児童に対し、医療的ケア及び生活支援を行うため、医療的ケア支援員を配置します。
事業内容及び実績評価	医療的ケア支援員を柏森小学校及び扶桑北中学校に１名（２名で交替）配置しました。県主催の医療的ケア支援員の研修を受講しました。 【過去の実績】 Ｒ４ １名（２名で交替） Ｒ３ １名（２名で交替）
課題及び今後の取組みの方向性	他課と連携し、対象児童生徒の数や状態の把握を強化するとともに、引き続き必要人数を配置出来るよう努めます。 時点毎にニーズが変わるため、柔軟に対応する必要があります。

外部評価委員 評価	支援を必要とする児童・生徒に対し平等な教育が受けられるよう、より充実した支援体制づくりに心がけてください。
--------------	---

(13) 児童生徒支援事業（学校教育課）

①教育支援センター運営事業

事業の目的	学校生活への適応が困難で、不登校及びその傾向にある児童生徒のために学校復帰をめざして支援を行います。
事業内容及び実績評価	柏森学習等供用施設に教育支援センター「あいあい」を設置し、教育支援センター 指導員 2 名、支援員 1 名を配置し、26 名の児童生徒が利用しました。 小学校 8 名 中学校 18 名 【過去の実績】 R4 27 名 R3 27 名
課題及び今後の取組みの方向性	多様な児童生徒及び保護者等に対応するため、今後も学校との連携を深めながら教育支援センターの運営を行い、児童生徒の心の居場所さがしを進めていきます。

②就学前教育相談事業

事業の目的	特別支援を必要とする就学予定園児に対して適切な就学指導を行うため、関係機関との連携を図り、保護者の理解と協力を得ながら教育支援の充実を目指します。
事業内容及び実績評価	就学予定園児について町内各保育園を訪問し現状を調査、県や特別支援学校の相談事業等の紹介をしました。また、保護者と相談し、事前に就学予定校と連携し学校見学を行いました。 就学時健診で就学に際しての支援を必要とする園児に対して、保護者との就学相談をし、就学相談内容を基に町教育支援委員会を開催しました。なお、令和5年度協議した就学予定児童は12名です。 【過去の実績】 R4 16 名 R3 9 名 なお、在校児童生徒は各学校からの報告を基に協議しました。
課題及び今後の取組みの方向性	就学後も各学校において年々教育支援を必要とする児童生徒が増加しています。保護者の意見を基に、保護者の理解・協力が得られるよう適切な就学前教育相談を行う必要があります。

③スクールソーシャルワーカー配置事業

事業の目的	教育分野に関する専門的な知識と経験を活かし、今日的な課題を抱える児童生徒及びその家庭の置かれた環境に働きかけ、課題の解決を目指します。
-------	---

事業内容及び実績評価	学校教育課にスクールソーシャルワーカーを1名・スクールメンタルサポーターを1名(扶桑中学校)配置し、課題の解決に向けて、学校と連携するとともに、子ども課を始めとする関係諸機関等と情報交換・行動連携を大切にして取り組みました。児童生徒及び保護者等から不登校・進路適性・学校関係・友人(人間)関係・家族関係・子育て・発達障害等と多種多様相談を受け付けました。 スクールソーシャルワーカー 活動件数942件(延べ数)・支援人数96名 スクールメンタルサポーター 活動件数269件(延べ数)・支援人数26名
課題及び今後の取組みの方向性	複雑かつ多岐に亘る課題の解決に向け、今後も関係機関等とより綿密な情報交換・行動連携に取り組み、体制の充実を図ります。

外部評価委員 評価	適応指導・就学指導ともに適確に進められています。児童生徒の将来に関わる重要な支援事業であり、今後も関係機関・保護者・学校等が十分に連携を図り、適切に進めてください。
--------------	---

(14) 地域学習活動支援事業(学校教育課)

事業の目的	児童に主体的な学習の仕方を身に付けさせるとともに、学ぶことの楽しさや成就感を体得させながら学習意欲を向上させ、学力の定着を図ります。
事業内容及び実績評価	小学3年生から6年生の児童を対象に、算数の基礎学力定着のために土曜教室を18回開催し、参加者は80名でした。 【過去の実績】 R4 18回実施 80名 R3 10回実施 80名
課題及び今後の取組みの方向性	希望人数が年々増えてきており、定員を増やすことが会場や人員の関係で難しいので、今後の在り方について検討する必要がある。
外部評価委員 評価	着実に成果が上がっていると思います。参加希望者が増加しているので、できるだけ希望に応えられるよう事業の充実・拡充に配慮してください。

(15) いじめ問題対策連絡協議会(学校教育課)

事業の目的	扶桑町いじめ防止基本方針に基づき、いじめ問題に関係する諸機関が連携を図り、いじめの早期発見・防止に努めます。
-------	---

事業内容及び実績評価	10月30日にいじめ問題対策連絡協議会を開催しました。またいじめ問題専門委員会は11月6日開催し、全国・県・当町のいじめ問題等の資料を参考に情報交換等を行いました。
課題及び今後の取組みの方向性	重大事態の対処等にも専門委員会等で関係機関と情報交換を行うことにより、緊急時に連携しやすくします。
外部評価委員 評価	いじめ問題は見えないところで始まります。現場での早期発見に努め、専門家を交える等して適切な早期対応を進めてください。

(16) 青少年健全育成推進事業（生涯学習課）

事業の目的	家庭・学校・地域・職場・企業などが一体となり、青少年の健全育成に対する理解を深め、地域住民との交流活動等の取組を推進します。
事業内容及び実績評価	青少年の健全育成に対する理解を深めるため、青少年の非行・被害防止、子ども・若者育成支援、家庭の日の各県民運動の展開と合わせ、看板設置、広報紙や広報無線などによる啓発活動に取り組みました。 青少年問題協議会 7月28日 〈啓発活動等〉 青少年の非行・被害防止 7月 1日～8月31日 12月20日～1月10日 子ども・若者育成支援 11月 1日～30日 家庭の日 2月 1日～28日 また、二十歳のつどいを1月7日に開催しました。 出席数 425名（うち二十歳の若者280名） 【過去の実績】 R4 262名（うち新成人247名） R3 306名（うち新成人293名）
課題及び今後の取組みの方向性	二十歳のつどいは、二十歳の若者により組織された実行委員会が企画・運営しています。また、学校や関係団体と連携して、青少年と地域との交流を深める機会や企画を検討していきます。
外部評価委員	これまでの取り組みの結果、目に見える非行の減少傾向にあるか

評価	と感じていますが、近年スマートフォンやタブレットが普及し SMS 等を利用した未成年による犯罪、未成年を狙った犯罪は増加しております。今後は SMS 等の適正な利用方法などの取り組みもお願いします。
----	---

(17) 家庭教育推進事業（生涯学習課）

事業の目的	心身ともに健全な子どもを育てるため、地域ぐるみの家庭教育や家庭の日の普及・啓発活動を行います。
事業内容及び実績評価	子ども会連絡協議会と共催し、子どもからお年寄りを対象とした健全な家庭環境づくりをテーマとする家庭教育推進事業講演会を計画しました。 (計画内容) 開催日 1月14日 入場者数 78名 演 題 『目からウロコが落ちる』科学実験」 講 師 元理科教員 小川 仁史 氏 【過去の実績】 R4 13名 R3 165名
課題及び今後の取り組みの方向性	定員50組のところ、31組の申し込みがありました。終了後も実験を楽しむ親子の姿が見られました。今後においても魅力ある家庭教育を学ぶ機会を設けていきます。
外部評価委員評価	今後も各講座において、笑顔があふれるような魅力のある家庭教育を学ぶ機会を設けてください。

(18) 生涯学習事業（生涯学習課）

①生涯学習講座事業

事業の目的	人々が生きがいや自己表現を求めて、学習活動等に自主的・自発的に参加できるような機会と場の整備の充実及び学習情報の提供を促進します。 また、社会参加を通して地域社会づくりに貢献できる人間形成を目指した生涯学習の推進を図ります。
事業内容及び実績評価	生涯学習講座 前期講座12講座 224名・後期講座10講座 224名 合計22講座 448名が受講しました。 【過去の実績】 R4 18講座 271名 R3 20講座 279名

課題及び今後の取組みの方向性	今後も各講座において、幅広い年齢層に受講していただけるよう、魅力ある企画を立案していきます。
----------------	--

②世代間交流事業

事業の目的	各地区の子どもからシニア世代までが、スポーツをとおして世代間交流を行います。
事業内容及び実績評価	子ども会連絡協議会と連携し、スポーツイベントをとおして、各地域における子どもからシニア世代までが交流できる機会を設けるため、謎解き要素やクイズ・ゲームを取り入れたウォーキング大会「第7回ミステリーウォーク」を開催しました。 開催日 3月10日 参加人数 371名 【過去の実績】 R4 282名 R3 283名
課題及び今後の取組みの方向性	子ども会連絡協議会役員の協力を得て、幅広い年齢層に参加していただけるように、継続して開催を計画していきます。

③文化祭、町民音楽祭、美術展、町民茶会

事業の目的	「文化の香り高いまちづくり」を推進するために、町民の自主的な文化活動・創作活動の場を提供します。
-------	--

事業内容及 び実績評価	① 第39回町民音楽祭 来場者数 390名 【過去の実績】 R4 156名 R3 中止 ② 第39回ふそう美術展 一般出品 105点(絵画・デザイン・書・写真・彫刻・工芸) 小中学生出品 45点(絵画・工作・書) 来場者数 872名 【過去の実績】 R4 1,075名 R3 739名 ③ 第33回町民茶会 来場者数 454名 【過去の実績】 R4 450名 R3 中止 ④ 扶桑町文化祭作品展示会 来場者数 1,558名 【過去の実績】 R4 1,094名 R3 中止 ⑤ 扶桑町文化祭活動発表会 来場者数 1,362名 【過去の実績】 R4 541名 R3 中止
課題及び今 後の取組み の方向性	町民の教養を深め、地域文化の発展を目的として、芸術、芸能等の文化振興の寄与に努めます。

④地域クラブ活動事業

事業の目的	中学校部活動の地域への移行だけでなく、地域クラブ活動としてそのあり方を考え、地域の教育力を活かした活動の充実を図ります。
事業内容及び 実績評価	指導者バンクの立ち上げ、指導員・補助員を対象とした研修会を実施し、各中学校の部活動の形は変えず、地域指導者による専門的な指導を6部活動で開始した。 扶桑中学校 卓球男子、卓球女子、ソフトテニス女子、バレーボール女子 剣道 扶桑北中学校 バレーボール女子
課題及び今後 の取組みの方 向性	中学校の部活動の段階的な移行を行いながら、部活動にはなかった新たな地域クラブの設立や、合同部活動など多様な世代が参加し、楽しく交流できるスポーツ・文化活動の場を目指します。

外部評価委員 評価	生涯学習講座から各種の文化発表会、それぞれに工夫改善され、多くの参加が得られています。今後も魅力ある企画を取り入れ、発展させてください。 また、地域クラブ活動事業についてはおおむね本格的な稼働に移行でき、今後も現場の声を生かして充実した取り組みを期待しております。
--------------	--

(19) スポーツの普及促進・推進事業（生涯学習課）

①スポーツ大会の実施

事業の目的	体育振興を推進し、明るく豊かなまちづくりを目指します。		
事業内容及び 実績評価	スポーツ推進委員会を中心とし「チャレンジデー」「スポーツフェスティバル」「走ろう会」「ミステリーウォーク」を開催しました。また、「愛知県市町村対抗駅伝競走大会」にも参加しました。		
	参加者数等		
	① チャレンジデー		
	扶桑町	長野県大町市	
	人 口	34,982人	26,084人
	参加者	12,633人	4,699人
	参加率	36.1%	18.0%
	【過去の実績】		
	R4 チャレンジデー 参加者数	10,114名	
	R3 おうちチャレンジデー 参加者数	340名	
	② スポーツフェスティバル 参加者数	274名	
	【過去の実績】		
	R4 スポーツフェスティバル 参加者数	198名	
	R3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
	③ 走ろう会 参加者数	582名	
	【過去の実績】		
R4	359名		
R3	181名		
④ ミステリーウォーク 参加者数	371名		
【過去の実績】			
R4	282名		
R3	283名		
①愛知駅伝 町村の部（順位）	10位／15位		
【過去の実績】			

	R 4 町村の部（順位） 6 位／1 6 位 R 3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
課題及び今後の取組みの方向性	室内種目としたスポーツフェスティバルは、多くの参加者に好評を得ることができましたので、さらに多くの町民に親しまれるイベントにしていきます。

②総合型地域スポーツクラブ

事業の目的	既存の総合型地域スポーツクラブの支援をします。
事業内容及び実績評価	各種スポーツ教室の開催 誰でも気軽に体を動かすことができる機会を提供し、住民の健康意識の向上に貢献できました。 会員数 9 1 9 名 スポーツ教室 2 6 教室 1, 0 2 4 名 【過去の実績】 R 4 8 3 5 名 2 6 教室 1, 0 6 6 名 R 3 8 4 1 名 2 5 教室 1, 0 2 4 名
課題及び今後の取組みの方向性	多くの教室・イベントを展開できているので、安定した運営ができるよう引き続き助言指導を行います。

③学校体育施設スポーツ開放事業

事業の目的	町内各小中学校の運動場や体育館並びに県立丹羽高等学校のグラウンドを一般開放し、運動をする場を提供し、健康増進に寄与します。
-------	---

事業内容及び実績評価	学校施設について、学校行事に支障の無い範囲で一般に無料で学校体育施設を開放し、健康増進、地域コミュニティの促進に貢献できました。 利用団体登録数 100団体 小中学校等利用時間 運動場 1, 507時間 体育館 5, 674時間 【過去の実績】 R4 103団体 運動場 1, 497時間 体育館 5, 196時間 R3 110団体 運動場 950時間 体育館 4, 731時間
課題及び今後の取組みの方向性	現在、学校施設の使用料は無料ですが、受益者負担の観点から、使用料徴収の検討をしていきます。

外部評価委員評価	各種のスポーツ大会、地域スポーツクラブともに安定した参加が得られ、着実に成果が出ています。体育施設開放事業における電気料金の一部受益者負担については、電気料金が高騰しておりますので利用者への理解も深めながら受益者負担も検討してください。
----------	---

(20) 図書館事業（生涯学習課）

①図書館インターネット予約事業

事業の目的	インターネットから図書の予約をできるようにし、利用者の利便性を図ります。
事業内容及び実績評価	年間予約点数 1, 952点 【過去の実績】 R4 2, 392点 R3 2, 235点 図書館カウンターに設置した利用者用端末（OPAC）からの予約も実施しています。従来の手書きの予約用紙を併用しての運用です。 年間予約点数 975点 【過去の実績】 R4 993点 R3 847点
課題及び今後の取組みの方向性	図書館のホームページをよりわかりやすくし、利便性の向上、読書活動の推進を図ります。

②図書館整備運営事業

事業の目的	暮らしの中に生きる図書館を目指し、新刊の図書と視聴覚資料を購入し、資料の充実や利用者の利便性を図ります。
事業内容及び実績評価	新刊図書 4, 203 冊を購入して、蔵書の充実を図りました。 【過去の実績】 R 4 新刊図書 4, 134 冊 視聴覚資料 32 点 R 3 新刊図書 4, 133 冊 視聴覚資料 40 点
課題及び今後の取組みの方向性	利用者及び社会的ニーズに応える図書整備運営に努めます。 新刊図書の P R、本の特集コーナーの設置にも注力し、読書の楽しさをお伝えするとともに、貸出点数の増加を図ります。
外部評価委員評価	昨今、本離れが進んでおり、図書館のもつ意味合いは大きく、魅力ある充実した図書館整備が必要と感じます。今後とも蔵書の充実や館内環境整備、利便性向上に努め、魅力ある図書館づくりを進めてください。

(21) 図書館ボランティアの養成・支援（生涯学習課）

事業の目的	ボランティア団体の方々との協力を図り、協働して子どもたちに読書活動の推進を図ります。 本の修理ボランティアにより、本の寿命を長くし継続的に使用できるよう図っていきます。
事業内容及び実績評価	本の修理ボランティアは、年間 1, 620 冊の本の修理を行い、修理ボランティア間で修理について勉強し、技術の向上を図りました。 絵本作家を招き講演会を行った際、絵本の理解を深め、読み聞かせに生かせるようボランティアに参加を促しました。 これまで図書館に関係するボランティアを集め、ボランティア会議を行っていましたが、本年は図書館協議会后にボランティア同士で情報交換を行いました。
課題及び今後の取組みの方向性	ボランティアの募集等を行い、本の読み聞かせ等を充実させます。
外部評価委員	今後もボランティアの協力を得ながら、読書活動の充実に努めて

員評価	ください。
-----	-------

(22) 文化会館事業（文化会館）

①公演事業

事業の目的	町民の文化振興意識の高揚を図り、文化の香り高いまちづくりを推進します。
事業内容及び実績評価	① ふそう文化大学 公演回数 4回 入場者数 819名 アコーディオン、素浄瑠璃、尺八・マリンバ、二十五絃箏・ハープの公演を行い、幅広い分野の文化芸術に触れていただきました。 【過去の実績】 R4 4回 1,283名、R3 4回 763名 ② コンサート 公演回数 18回 入場者数 3,150名 ジャズ、シャンソン、バンド等の公演を行い、幅広い年齢層の方が音楽に親しめる機会を設けました。 【過去の実績】 R4 15回 3,199名、R3 10回 1,768名 ③ 伝統芸能 公演回数 11回 入場者数 1,318名 落語、和太鼓の公演を行い、質の高い文化芸術を鑑賞していただきました。 【過去の実績】 R4 8回 1,045名、R3 4回 1,179名 ④ 体験企画等 実施回数 7回 入場者数 239名 扶桑文化会館探検ツアー、グランドピアノ開放事業、講演会等を開催し、幅広い年齢層の方に参加していただきました。 【過去の実績】 R4 10回 302名、R3 8回 461名
課題及び今後の取組みの方向性	文化会館が持つ特性を最大限生かし、質の高い文化公演を開催し、町民生活の向上と文化芸術の高揚につながるよう努めていきます。

②ふそうのロビコン（ロビーコンサート）（文化会館）

事業の目的	Tシャツとジーンズ気分で聴きに來られるアットホームな手作りの無料ロビーコンサートを開催します。
-------	---

事業内容及 び実績評価	ロビコン開催回数 18回 入場者数 1,453名 (昼 18回 1,453名 夜 0回 0名) 幅広い世代に楽しんでもいただけるように、多様な編成にて、開催しました。 また、出演者の了承を得た公演に限り、動画配信 (YouTube) を実施しました。(再生回数 2,361回) 【過去の実績】 R4 開催回数 16回 入場者数 1,352名 (昼 16回 1,352名 夜 0回 0名) R3 開催回数 16回 入場者数 1,108名 (昼 16回 1,108名 夜 0回 0名) ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場をロビーからホールへ変更し、開催しました。 また、イオンモール扶桑からの提案に対応して、「ふそうのロビコン」をイオンモール扶桑にて開催しました。
課題及び今後の取組みの方向性	幅広い世代に楽しんでもいただけるように、魅力ある演奏者を招き、開催していきます。

③扶桑町登録アーティスト紹介事業 (文化会館)

事業の目的	まち・ひと・しごと創生総合戦略の一環で、文化振興を図るために町内の団体へアーティストを紹介します。
事業内容及 び実績評価	町内の団体等へ登録アーティストを紹介する事業です。 紹介件数 1件 (登録者数 36組) 【過去の実績】 紹介件数 R4 1件 (登録者数 34組) 紹介件数 R3 0件 (登録者数 32組)
課題及び今後の取組みの方向性	アーティストの活躍の場の提供のために、本事業の情報発信等に努めます。

外部評価委員評価	文化の香り高いまち扶桑町の柱として、いろいろな事業に取り組んでいただいております。今後はより若年層にも魅力のある事業展開を期待しております。
----------	---

(23) ボランティア団体 (ふそう文化会館夢応援団、扶桑文化会館友の会) の育成 (文化会館)

事業の目的	文化振興活動を協働の観点から支援し、文化の香り高いまちづくりを推進します。
事業内容及び実績評価	夢応援団 18名 友の会 14名 ふそう文化会館夢応援団は自主事業等開催時の会場案内活動を、扶桑文化会館友の会は自主事業の広報活動及び入場券発売初日における受付事務を行いました。 【過去の実績】 R4 夢応援団 16名 友の会 14名 R3 夢応援団 18名 友の会 12名
課題及び今後の取組みの方向性	随時のミーティング等にて、ボランティア活動に係る提案、相談に応じ、活動の喜びに繋がるように努めます。 スキルアップや相互の交流を深めるための場を設けるように努めます。 ボランティアが高齢化している現状と、若者の加入が見込まれないことが課題です。名古屋経済大学とも連携を取り、学生のボランティア参加を進めます。

外部評価委員評価	大学のボランティアとの連携を始めとした取り組みは大いに評価できます。今後もいろいろなボランティア団体と連携をはかり、若いボランティアの取り込みに努めてください。
----------	--

(24) 文化財保護事業（生涯学習課）

事業の目的	郷土の文化財に対する正しい理解が郷土を愛する心につながるの で、それらを大切に守り次代に引き継ぐことができるよう、保存と 活用を図ります。
事業内容及び実績評価	文化財保護団体等に維持管理のための補助金を交付しました。 補助金額 14種類 105,000円 【過去の実績】 R4 14種類 105,000円 R3 14種類 105,000円
課題及び今後の取組みの方向性	文化財を保護保全していくために、文化財保護審議会委員、管理 者（所有者）や地域との連携を継続していきます。中央公民館にお いては、展示スペースに歴史資料を展示し、多くの町民の目に触れ る機会を増やしていきます。
外部評価委	扶桑町の文化財、資料等は常設的な展示が中心となっていますが

員評価	積極的に扶桑町の文化財を多くの町民の目に触れ、知ってもらう機会を増やすよう努めてください。
-----	---

7. 令和5年度扶桑町教育委員会の事務の点検及び評価のまとめ

「第5次扶桑町総合計画」において、扶桑町の「まちづくり基本目標」が掲げられています。その一つである「みんなで“学び育む”～次代と豊かな心を育むまちづくり～」を教育委員会の目標として、さまざまな事業が推進されています。

令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が第5類に移行され、まさにアフターコロナ時代に移行した初年度であり、ようやく平常通りに各種事業が実施されました。

今回、長かったコロナ禍を乗り越え、感染予防に配慮しながら進められた扶桑町教育委員会の各事業の実施状況や成果について詳細な説明を受け、事業の目的や方向性を確認しながら、点検・評価を実施しました。

当該年度の各事業については、感染予防対策に配慮しつつ着実な事業運営が為され、これまでと同様の実績・成果が上がっていると判断しました。

ウイズコロナからアフターコロナと困難な状況下において培われたノウハウを取り入れながら、今後も更なる工夫改善を重ね、一層の充実に努めてください。

なお、近年の物価上昇は、子育て世帯に大きな影響を及ぼしています。教育の機会均等の理念からも、行政による子育て世帯への支援が一層重要に練ってくると思います。今後とも十分な配慮・支援を期待します。

また、まちづくりの基本目標「みんなで“学び育む”」につながる「地域学校協働参画事業」が動き始めていますが、地域と学校が一体となって課題解決に向けて着実な歩みを進めてください。

今後とも、扶桑町教育委員会を中心に地域、関係機関・住民一体となって「次代と豊かな心を育むまちづくり」を目標に、充実した事業が進められることを期待しています。

令和6年8月9日

扶桑町教育委員会外部評価委員 小 室 明 正

倉 橋 伸 子